学校番号	３１５

令和２年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版　新編　数学Ａ　（数研出版）						
副教材等	改訂版　基本と演習テーマ　数学Ｉ＋Ａ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、基礎的な内容を理解することを目標とします。場合の数や確率では問題文を読み取り、どのような計算をするのか、図形の問題ではどのような条件で定理を用いるのかを意識し、問題に取り組ませます。また、その日に習った内容は必ず復習し、知識を定着させることが大切です。
わからない内容はそのままにせず積極的に発問し、理解を深めてください。
定期考査時や長期休暇時は副教材を課題として与え、理解度を点検します。

２　学習の到達目標

数学Ａでは、集合・場合の数・確率・平面図形・空間図形についての基礎的な知識や技能を修得します。数学Ａの範囲では集合やＰの計算、Ｃの計算など高校で初めて学ぶ範囲なので新たな考え方を学び、数学的な考察ができる能力を身につけていきたい。また、自ら問題を解決できる力も身につけていきたい。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b: 数学的な見方や考え方	c: 数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	集合・場合の数・確率･平面図形などの考え方に関心をもつとともに､数学のよさを認識し､それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり､思考の過程を振り返り多面的･発展的に考えたりすることなどを通して、集合・場合の数・確率･平面図形における数学的な見方や考え方を身に付けている。	集合・場合の数・確率・平面図形などにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	集合・場合の数・確率・平面図形などにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	定期考査 授業中の小テスト 課題提出状況 授業への取組み姿勢 など	定期考査 授業中の小テスト 課題提出状況 授業への取組み姿勢 など	定期考査 授業中の小テスト 課題提出状況 授業への取組み姿勢 など	定期考査 授業中の小テスト 課題提出状況 授業への取組み姿勢 など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	場合の数	集合と要素	○	○	○		a:集合の包含関係と命題を関連付けて捉え、それらを命題の考察に活用しようとしている。 b:べん図などを用いて数学の対象を整理しそれらを多面的、統合的に見たり、事象を命題として表現し、考察したりすることが出来る。 c:与えられた２つの集合の共通部分や和集合、補集合などを求めることができる。	定期考査 小テスト 課題提出 授業態度等
		場合の数	○	○		○	a: 場合の数に対し、関心を持ち、意欲的な姿勢で学習に取組んでいる。 b: 場合の数の事象の考察に対し、あてはまる例を書き並べたりしている。 d:和の法則や積の法則を理解している。	
		順列	○	○		○	a:順列に対し、関心を持ち、意欲的な姿勢で学習に取組んでいる。 b:具体例を自分で書き表し、数学的な見方をしている。 d:円順列や重複順列についても理解している。	
二学期		組み合わせ		○	○	○	b:具体例を自分で書き表し、数学的な見方をしている。 c: 同じものを含む順列や最短経路の問題でも考え方を理解することが出来る。 d: 同じものを含む順列や最短経路の問題についても理解している。	定期考査 小テスト 課題提出 授業態度等

	確率	確率の基本性質	○	○	○		a:確率に対し、関心を持ち、意欲的な姿勢で学習に取組んでいる。 b:具体例を自分で書き表し、数学的な見方をしている。 c:さいころや硬貨を用いた確率の考え方を理解し、答えを求めることが出来る。	
		独立な試行と確率	○	○		○	a: 独立な試行の確率に対し、関心を持ち、意欲的な姿勢で学習に取組んでいる。 b: 具体例を自分で書き表し、数学的な見方をしている。 d: 和事象の確率、積事象の確率の考え方を理解し、反復試行や条件付き確率の考え方についても理解している。	
三学期	平面図形	三角形の外心・内心・重心	○		○	○	a: 三角形の外心・内心・重心に対し、関心を持ち、意欲的な姿勢で学習に取組んでいる。 c: 三角形の外心・内心・重心を用いて、角度や辺の比を求めることが出来る。 d: 三角形の外心・内心・重心の違いを理解し、基礎的な知識を身についている。	定期考査 小テスト 課題提出 授業態度等
			○		○	○	a: チェバの定理・メネラウスの定理に対し、関心を持ち、意欲的な姿勢で学習に取組んでいる。 c: チェバの定理・メネラウスの定理を用いて、辺の比を求めることが出来る。 d: チェバの定理・メネラウスの定理の違いを理解し、基礎的な知識を身についている。	
			○			○	a: 方べきの定理に対し、関心を持ち、意欲的な姿勢で学習に取組んでいる。 d: 方べきの定理を理解し、基礎的な知識を身についている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。